

本資料の内容を無断で転載することを禁じます

製薬企業より ～「いかに活用してほしい？」各種資材に込めた思い～

篠田好果

日本製薬工業協会（製薬協）PV部会 TF1
（ノバルティス ファーマ株式会社 ペイシエントセーフティ）

第19回 日本薬局学会 学術総会

2025年11月1日



日本薬局学会 COI 開示

発表者名： 篠田 好果

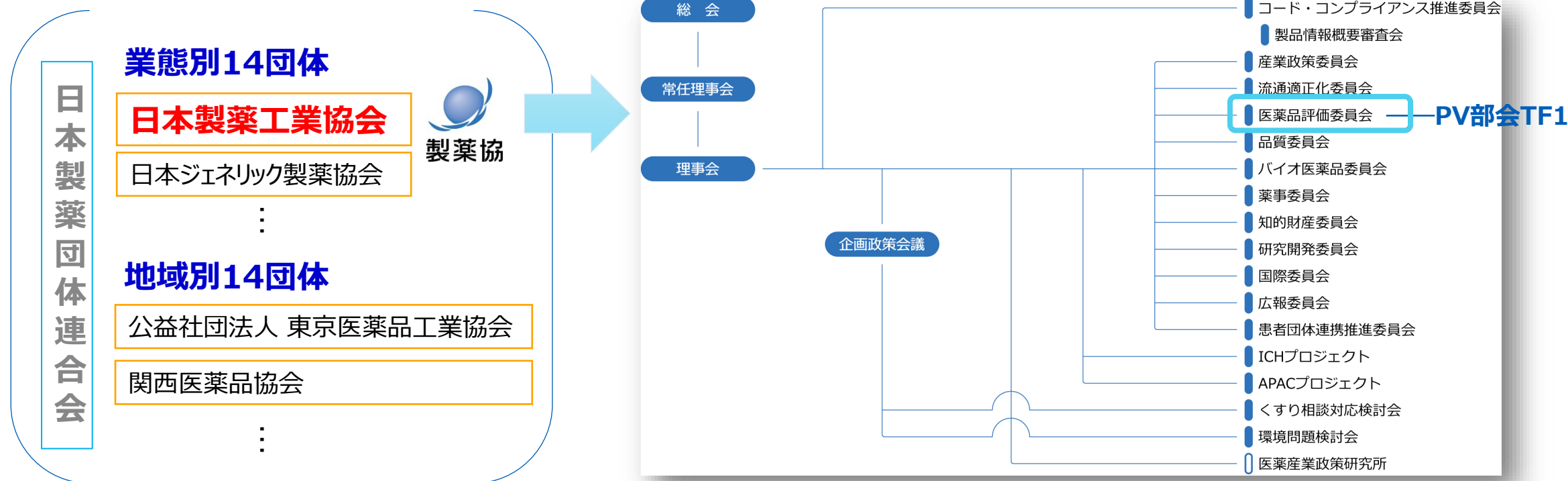
演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある 企業
はありません。

日本製薬工業協会（製薬協）とは

研究開発志向型の製薬企業69社（2025年9月1日現在）が加盟する任意団体です

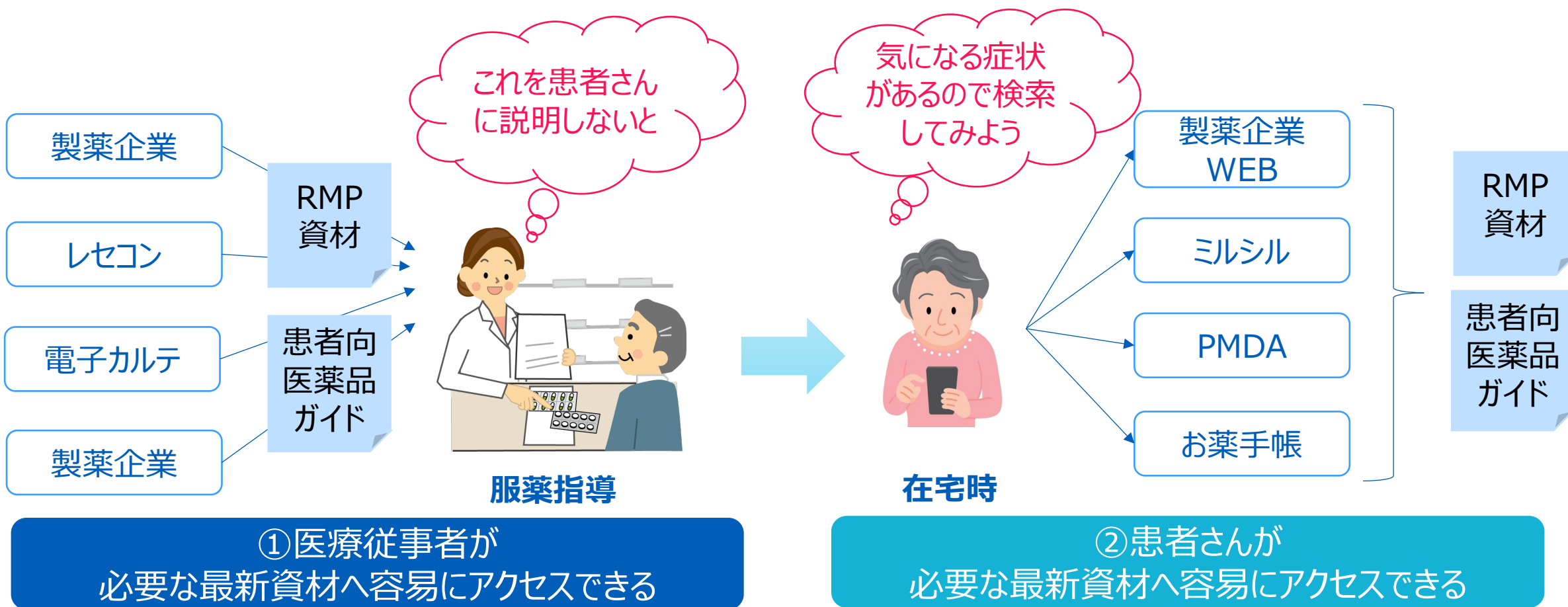
1968年の創立以来、「患者参加型医療の実現」を理念に掲げ、革新的な医療用医薬品の研究開発を通じて、世界の医療の発展に貢献し続けています。

医薬品評価委員会PV部会に所属するTF1では、DX×リスクコミュニケーションをテーマに活動しています。



目指したい世界

医療従事者、患者さんのいずれもが、必要な時に必要な最新情報へアクセス出来る仕組みを実現すること。



イントロダクション

製薬企業が作成した資材は、皆さまの現場で活用されていますか？

製薬会社の資材作成、薬剤師による資材活用状況や課題をアンケート結果を交えてご紹介します。



製薬会社が作成した資材は
薬局ではどのくらい活用・配布
されている？

資材に込めた情報や意図は、
きちんと伝わっている？



提供している資材の形式や媒体は、
使いやすいものになっている？



CONTENTS

1. 製薬企業による各種資材の作成～資材に込めた思い～
2. 薬剤師による情報活用～アンケート結果から見えた現状～
3. まとめ

CONTENTS

1. **製薬企業による各種資材の作成～資材に込めた思い～**
2. 薬剤師による情報活用～アンケート結果からみえた現状～
3. まとめ

製薬企業が作成する資材はさまざまです

医薬品共通の情報として、電子添文やインタビューフォームなどの資材を作成します。
加えて、疾患・製品特性に応じた医薬品情報として、RMP資材やその他の資材を作成し提供しています。

添付文書等の資材

- ・ 電子添文
- ・ インタビューフォーム
- ・ くすりのしおり
- ・ 患者向医薬品ガイド
- ・ 緊急安全性情報／安全性速報

RMP資材

医薬品リスク管理計画書において「追加のリスク最小化策」として作成される資材

- ・ 医療従事者向け資材：適正使用ガイドなど
- ・ 患者向け資材：〇〇カード、〇〇を使用する患者様とご家族へ など

その他の資材

医療従事者向け

- ・ 総合製品情報概要
- ・ 注意喚起、適正使用お願い文書
- ・ お知らせ文書
- ・ 疾患解説資材
- ・ 再審査の結果や製造販売後の各種調査の結果
- ・ プレゼンテーションコンテンツ（説明会資料など）
- ・ 講演会・研究会記録集 他

患者さん向け

- ・ 疾患解説資材：疾患に関する各種情報・ダイアリー・レシピ など
- ・ 患者向け服薬指導資材：〇〇を使用されている方へ（医薬品の適正な使用方法などを確認するための資材）など
- ・ 医療従事者が使用するための患者説明用資材

患者さん向けサイトで入手・
閲覧・使用可能なもの



RMP資材は「リスク最小化」のための活動として作成します

RMP資材は、RMPの「リスク最小化活動」の一環として計画されます。安全対策上、通常の活動に加えて対策が必要と判断した場合に作成します。目的や使用方法はRMPで確認することができます。

患者向けRMP資材

はじめに

この「自己投与ガイドブック」では、医療施設で主治医から「自己投与」に関するメッセージや指導を受けた後に、患者さんご本人またはご家族の方などがケシンプタ皮下注20mgペンを正しく自己投与していただくための方法やポイント、Q&Aなどを紹介しています。

「自己投与」にあたっての大切な注意事項

「自己投与」とは、医師や看護師ではなく、患者さんご本人またはご家族の方などが自宅などで行う投与（注射）のことです。自己投与を正しく行うためには、実際に投与を行う人が、医療施設で「自己投与」に関する十分な指導を受けた後に、主治医・看護師・薬剤師の先生による指導の下で投与方法をきちんと確認し、確実に自己投与できるよう慣れておく必要があります。

- 患者さんご本人またはご家族の方などが自己投与を適切に行えないなど、「自己投与の継続が困難」と主治医が判断した場合は自己投与を中止し、通院投与に切り替える場合もあります。
- 自己投与に関しては、十分な体調管理が大切です。風邪などの感染症の症状（咳の痛み、寒気、発熱、肌 等）や体調の変化などがあれば、すぐに主治医に相談してください。
- 自己投与がうまくできない場合や、わからないことがある場合は、主治医・看護師・薬剤師の先生にご相談ください。

STEP 3 自己投与が終わったら 投与後にいつもと違う「体調の変化」を感じた時は、 ご自身で判断せずに、すぐに主治医に相談してください



副作用は早期に発見し、早めに適切な治療を行うことで、重症化を防ぐことが期待できます。
いつもと違う「体調の変化」を感じた時は、すぐに主治医に相談してください

RMP（医薬品リスク管理計画書）

に係る 医薬品リスク管理計画書（RMP）の概要

販売名	有効成分
製造販売業者	薬効分類
提出年月日	871190
	令和7年3月12日

1.1. 安全性検討事項		
【重要な特定されたリスク】	【重要な潜在的リスク】	【重要な不足情報】
感染症	B型肝炎ウイルス（HBV）再活性化	長期投与時の安全性
注射に伴う全身反応	進行性多発性白質脳症（PML）	
	悪性腫瘍	
	免疫応答の低下	
	妊娠への投与による児への影響	
1.2. 有効性に関する検討事項		
なし		

↑上記に基づく安全性監視のための活動

2. 医薬品安全性監視計画の概要
通常の医薬品安全性監視活動
追加の医薬品安全性監視活動
特定使用成績調査
製造販売後臨床試験
3. 有効性に関する調査・試験の計画の概要
なし

↑上記に基づくリスク最小化のための活動

4. リスク最小化計画の概要
通常のリスク最小化活動
追加のリスク最小化活動
医療従事者向け資材（適正使用ガイド）の作成、提供
患者向け資材（はじめての...）の作成、提供
患者向け資材（自己投与ガイドブック）の作成、提供

各項目の内容はRMPの本文でご確認ください。

患者向け資材（自己投与ガイドブック）の作成、提供

【安全性検討事項】

重要な特定されたリスク：感染症、注射に伴う全身反応

【目的】

患者又はその家族に対し自己投与についての適切な理解を促すため。

【具体的な方法】

MRが医療関係者に患者又はその家族への情報提供資材としての活用を依頼する。
企業ホームページに掲載する。

【節目となる予定の時期、実施した結果に基づき採択される可能性がある更なる措置】

安全性定期報告時に副作用の発現件数と販売量の推移を確認する。本結果から、リスク最小化策の更なる強化が必要と判断される場合、新たな安全性検討事項が認められた場合、また電子添文が改訂された場合には、資材の改訂、追加の資材作成、提供方法等の実施方法の改訂等を検討する。

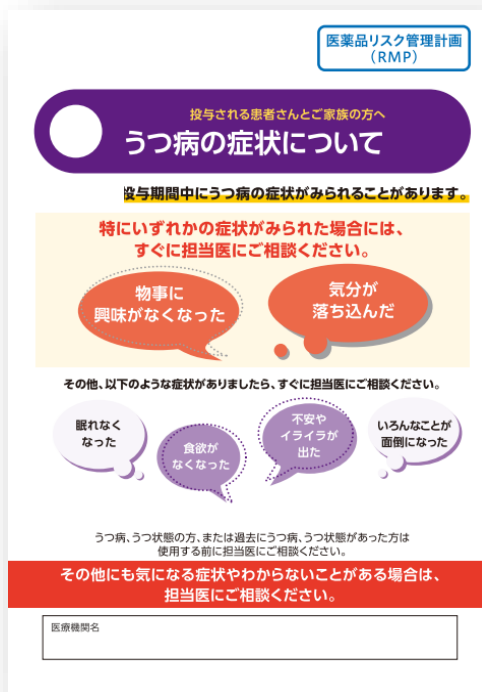
報告の予定時期：安全性定期報告書提出時

患者向けRMP資材の事例

注意すべき「症状」に
特化した情報提供
(1ページ)

総合的な情報提供
(安全性以外も含む)
(全28ページ)

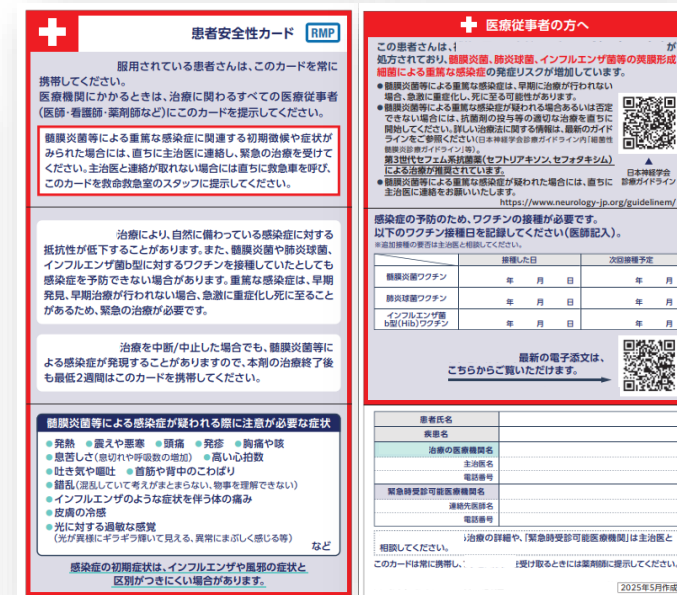
常に携帯することを想定した
患者カード
(カード)



患者さん及びその家族が、本剤投与期間中に認められるうつ症状及びその際の対応を理解する。



患者さんやその家族に対して、本剤による治療、治療前の治療中の注意事項、副作用の初期症状と対処に関する情報などを提供することにより、本剤の副作用を未然に防ぐ若しくは重篤化を防ぐ。



患者さんに対し、リスクに関する情報を提供し、適正使用に関する理解を促し、安全性の確保を図る。

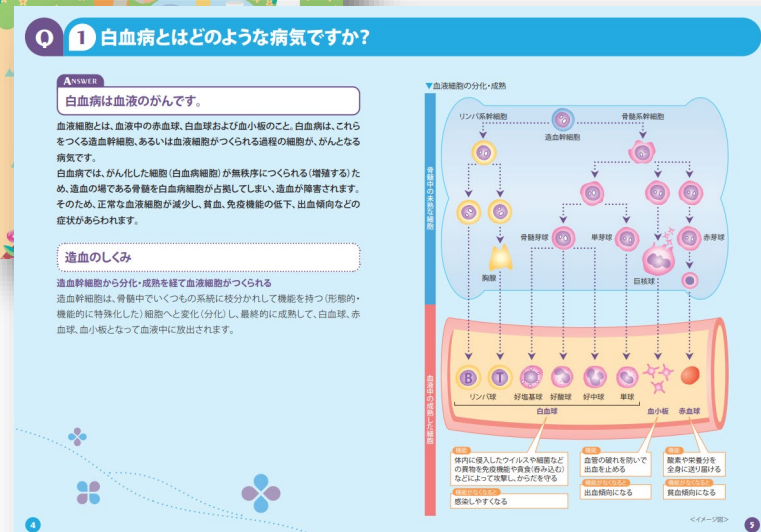
その他の患者向け資材の事例

資材は、必要な内容が含まれているか、使されるシーン、持ち運び・保管、などを総合的に考え作成しています。患者さん向け資材はB5やA5、小型カードなどさまざまなサイズがあり、「見やすさ」「持ち運びやすさ」などを総合的に考えて、決定されます。

疾患啓発



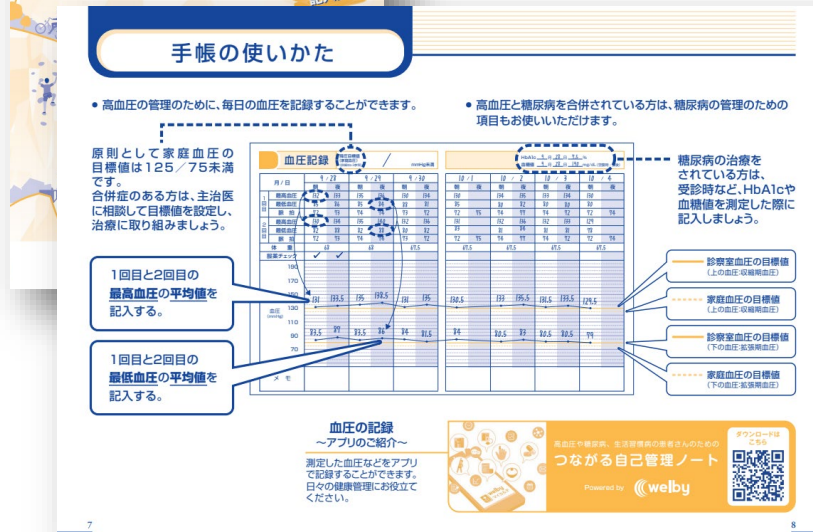
A5サイズ



ダイアリー



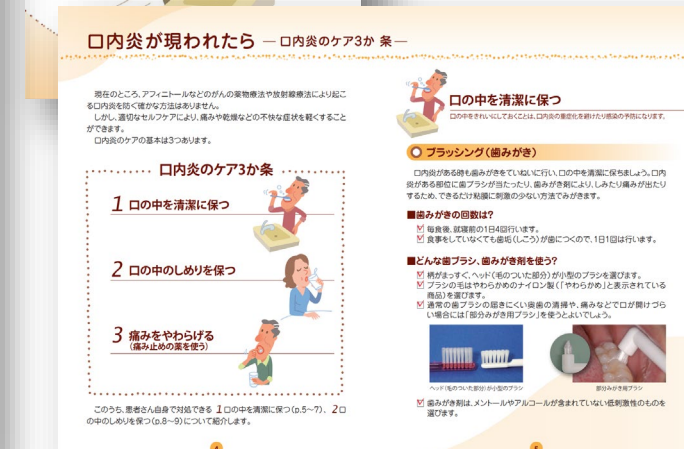
グラフ記入式：B6
数値記入式：A6



その他の情報提供



A5サイズ



その他の患者向けデジタル資材の事例

ダイアリーアプリ



医療機器 使い方動画



資材作成には、社内外の様々な視点を取り入れています

資材は、主となる担当者だけでなく対象となる医薬品にかかわる多くのメンバーが協働して検討し、**業界ガイドラインや各社の社内規制に従って作成**され、社内審査を経て、公表されます。

資材作成プロセスの概要

企画：～1か月

作成・社内審査・最終化：3～12か月※（会社と緊急度によって異なります）

※一般的な資材の場合。

コンセプト
を検討・
合意

企画
社内申請

資材案
作成

チーム
レビュー

社内外
関係者
レビュー

社内
審査

資材
最終化

社内連絡
教育

印刷
発送
公表



関係部署（安全性部門、メディカル部門、マーケティング部門、臨床開発部門、薬事部門など）

医師監修・専門家助言をいただくケースや
RMP資材ではPMDAレビューが発生



PMDA

資材作成に患者さんの意見を取り入れた事例（1/2）

専門的な先生に監修いただく事例はこれまで多くありましたが、
患者さん向け資材を作成する際に、**患者さんのご意見を取り入れる事例もみられるようになっていきます。**

事例：製薬会社の作成する冊子に求める安全性情報や情報提供手段を検討するため、患者さんアンケートを行い、アンケート結果を踏まえて患者向けRMP資材案を作成し、患者さん目線での患者団体のレビューを経て、最終化した。

オンコロジー領域の患者団体会員を対象としたオンラインアンケート調査で、特に掲載してほしい情報の上位3件は、

- ① 副作用が起こったときの対応方法
 - ② 具体的な副作用症状
 - ③ 日常生活で気をつけるポイント
- であった。

各リスクについて、アンケートにて掲載希望の多かった内容を記載。

副作用名	副作用の説明
	いつ頃起きやすいか(発現時期) 一般的には治療の数時間から数日以内に発現することが多いとされ、 いつ頃起きやすいか(発現時期) 必要な副作用ですので状況によっては一定期間の入院をおすすめする場合があります。
	具体的な症状 ● 38℃以上の発熱 ● 顔が遠い、乱れる ● 頭痛 ● 血圧が低い ● 悪寒(さむけ) ● 呼吸が苦しい ● めまい、ふらつき

副作用が起こったときの対応方法
副作用が起きたときは、速に医師や看護師、薬剤師に連絡してください。

日常生活で気をつけるポイント
普段のおからだの状態を確認し、体調管理しておくことがとても大切です。
● 体温と血圧を定期的に測定しましょう。
● 適切な休息をとしましょう。
● 水分を補給しましょう。

診察の際に担当医や看護師、薬剤師に質問したいことなどのメモにご活用ください。

資材作成に患者さんの意見を取り入れた事例（2/2）

資材の使用者である患者さんのご意見を通じて
活用いただきやすい、意味のある、医薬品情報の提供を目指しています。

事例：患者さんが持ち歩くものなので目立つ色ではなく控えめな色で作成。患者さんへのインタビューによりご助言をいただき、もっと目立つように、患者さんも意識できるように、デザインを修正した。

インタビューで頂戴したご意見の一例

✓ 色合いに関して（爽やかすぎる）

①案 **②案** **③案**

最終レイアウト

万が一落としても拾ってもらえるように
もっと目立つほうが良い

患者安全性カード RMP

を服用されている患者さんは、このカードを常に携帯してください。

医療機関にかかるときは、治療に関与するすべての医療従事者（医師・看護師・薬剤師など）にこのカードを提示してください。

髄膜炎等による重篤な感染症に関連する初期徴候や症状がみられた場合には、直ちに主治医に連絡し、緊急の治療を受けてください。主治医と連絡が取れない場合には直ちに救急車を呼び、このカードを救命救急室のスタッフに提示してください。

治療により、自然に備わっている感染症に対する抵抗力が低下することがあります。また、髄膜炎や肺炎球菌、インフルエンザ菌b型に対するワクチンを接種していたとしても感染症を予防できない場合があります。重篤な感染症は、早期発見、早期治療が行われない場合、急激に重症化し死に至ることがあるため、緊急の治療が必要です。

治療を中断/中止した場合でも、髄膜炎等による感染症が発現することがありますので、本剤の治療終了後も最低2週間はこのカードを携帯してください。

髄膜炎等による感染症が疑われる際に注意が必要な症状

- 発熱
- 震えや悪寒
- 頭痛
- 発疹
- 胸痛や咳
- 息苦しさ（息切れや呼吸数の増加）
- 高い心拍数
- 吐き気や嘔吐
- 首筋や背中のこわばり
- 錯乱（混乱していて考えがまとまらない、物事を理解できない）
- インフルエンザのような症状や体中の痛み
- 皮膚の冷感
- 光に対する過敏な感覚（元が真暗にギラギラ輝いて見える、真実まぶしく感じる等）

感染症の初期症状は、インフルエンザや風邪の症状と区別が付きにくい場合があります。

医療従事者の方へ

この患者さんは、**髄膜炎、肺炎球菌、インフルエンザ菌等の髄膜炎形成菌による重篤な感染症の発症リスクが増加しています。**

- 髄膜炎等による重篤な感染症は、早期に治療が行われない場合、急速に重症化し、死に至る可能性があります。
- 髄膜炎等による重篤な感染症が疑われる場合は、迅速に適切な治療を開始してください。詳細な治療法に関する情報は、最新のガイドラインを参照ください（日本神経学会感染症ガイドライン「細菌性髄膜炎診療ガイドライン」）。
- 第3世代セフェム系抗菌薬（セフトリアキソン、セフォキシム）による治療が推奨されています。
- 髄膜炎等による重篤な感染症が疑われた場合には、直ちに主治医に連絡をお願いします。

<https://www.neurology-jp.org/guideline/>

感染症の予防のため、ワクチンの接種が必要です。以下のワクチン接種日を記録してください（医師記入）。

ワクチン	接種した日	次回接種予定
髄膜炎菌ワクチン	年 月 日	年 月
肺炎球菌ワクチン	年 月 日	年 月
インフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン	年 月 日	年 月

最新の電子添文は、こちらからご覧いただけます。

患者氏名
病名
治療の医療機関名
主治医
電話番号
緊急時受診可能医療機関名
連絡先氏名
電話番号

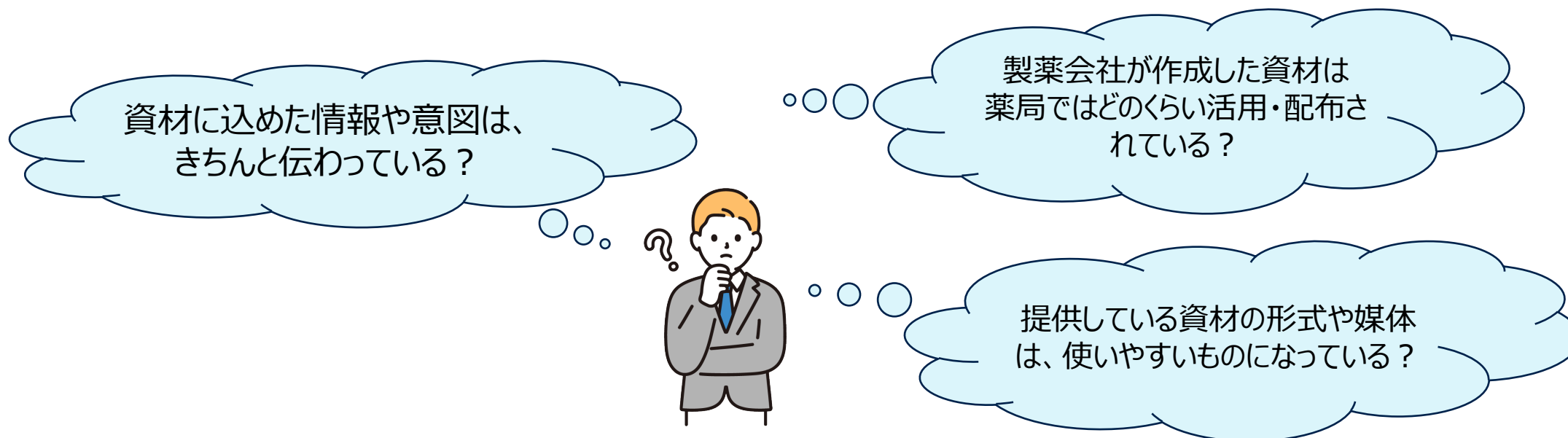
受診する治療の詳細や「緊急時受診可能医療機関」は主治医と相談してください。

このカードは常に携帯し、受け取る際には薬剤師に提示してください。

2025年5月作成

CONTENTS

1. 製薬企業による各種資材の作成～資材に込めた思い～
2. 薬剤師による情報活用～アンケート結果からみえた現状～
3. まとめ



薬剤師による情報活用：薬剤師向けアンケート調査結果

薬剤師によるRMP資材活用の現状は？解決すべき課題はどのような点でしょうか？
2種類の薬剤師向けアンケート調査結果をご紹介します。

	アンケート① ¹⁾²⁾		アンケート② ³⁾
調査期間	2024年6月27日～7月3日	2025年5月16日～5月22日	2025年10月13日
調査目的	<ul style="list-style-type: none">保険薬局・病院薬剤部でのRMP資材の活用・認知の現状を知る今後の活用意向現状活用にあたっての課題感が有るのか無いのか製薬企業への要望（PMDAへの要望）	<ul style="list-style-type: none">2024年6月と同様1年前実施比較	<ul style="list-style-type: none">分科会の質向上今後の患者向け医薬品情報提供のあり方の検討
調査方法	アスyakサービス会員 インターネット調査（株式会社ネクスウェイ実施）	アスyakサービス会員 インターネット調査（株式会社ネクスウェイ実施）	Formsを介したアンケート調査（学術大会分科会16の中で実施）
サンプルサイズ	薬剤師568名 保険薬局勤務：465名 病院薬剤部勤務：101名	薬剤師616名 保険薬局勤務：468名 病院薬剤部勤務：147名 勤務以外：1名	第58回日本薬剤師会学術大会 分科会16 「もっともっと活用しよう！医薬品情報」 参加者66名

株式会社ネクスウェイが実施した以下のアンケート結果より、株式会社ネクスウェイの許諾の上掲載

1)「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2024年6月実施（株式会社ネクスウェイ）薬剤師568名の調査結果

2)「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2025年5月実施（株式会社ネクスウェイ）薬剤師616名の調査結果

3)第58回日本薬剤師会学術大会 分科会16 参加者アンケート

| 2025年10月実施 分科会参加者66名の結果

薬剤師のRMP資材活用：RMP資材を活用している割合は？

RMPを知っていてRMP資材を活用しているは65.6%で、昨年より10%増加しました。
RMPを知っているが活用していないは22.9%、知らないし活用予定もないは6.2%でした。

アンケート① 【活用経験】

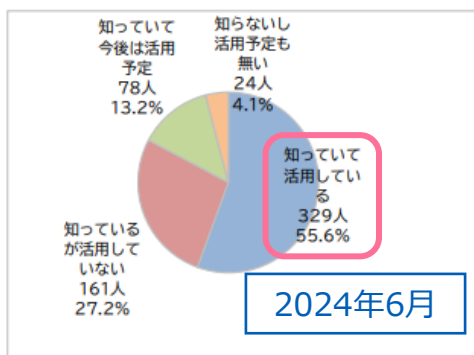
単一 選択式

Q1 RMP(Risk management plan)をご存じですか？
また、知っている方は貴施設において「RMP資材」を業務に活用したことはありますか？
活用予定も含めご教示ください。



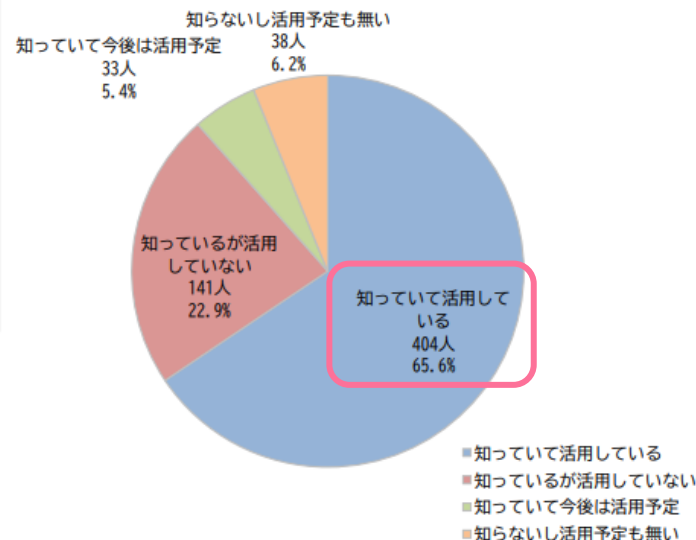
知っていて活用が昨年同時期より10%UP
知らないし活用予定もないが2%UP

2025年5月



2024年6月

※1年前同設問回答



© Nexway Co., Ltd.

8

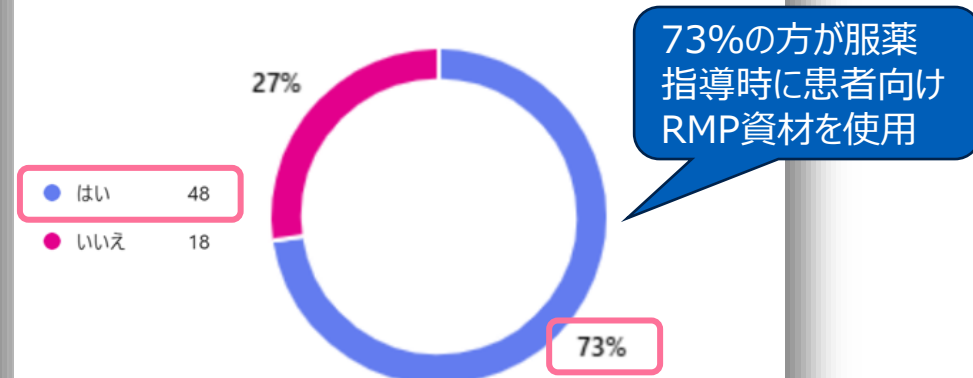
株式会社ネクスウェイが実施した以下のアンケート結果より、株式会社ネクスウェイの許諾の上掲載
「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2024年6月実施（株式会社ネクスウェイ）薬剤師568名の調査結果
「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2025年5月実施（株式会社ネクスウェイ）薬剤師616名の調査結果

アンケート② 【活用経験】

第58回 日本薬剤師会学術大会 分科会16 会場アンケート

Q2.患者さんへの服薬指導の際に、患者向けRMP資材を使用していますか？

(N=66)



73%の方が服薬指導時に患者向けRMP資材を使用

第58回日本薬剤師会学術大会 分科会16 参加者アンケート | 2025年10月実施 分科会参加者66名の結果

薬剤師のRMP資材活用：RMP資材はどのように活用されている？

RMP資材の活用では、「患者向け資材を服薬指導へ活用」が87.9%、「薬剤交付時に配布」が66.4%と多く、医療従事者向け資材を薬局内や他職種などへの情報共有に活用している例もみられました。

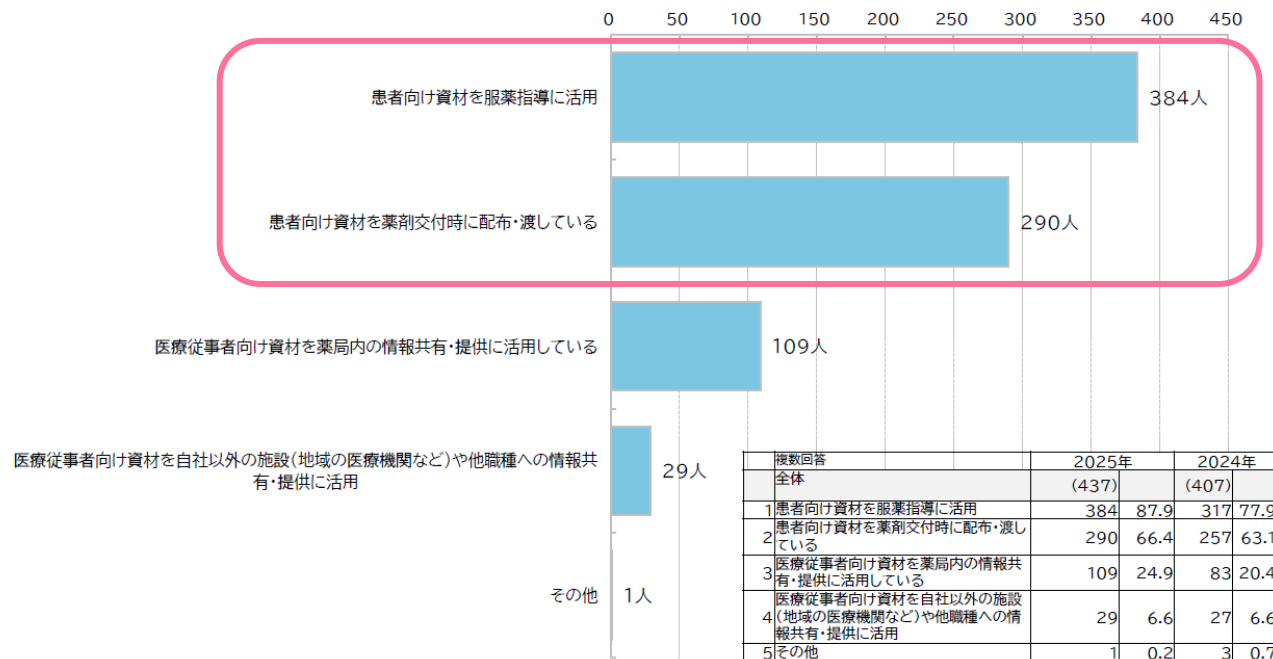
アンケート① 【活用事例】

複数 選択式

Q4 RMP資材の活用事例を教えてください



ほぼ数値は変わらないが患者向けの活用から局内共有活用が若干UP



具体事例（2024年アンケート結果より抜粋）

【服薬指導】

- 資材を確認いただくことで**理解が深まる**（口頭だけでなく資材を見ることで気づいていただけた）
- 資材を見せて説明、**一緒に確認**できた
- 徐々に増量する必要性を**うまく説明**できた

【副作用】

- 問い合わせの際に活用している
- 副作用の早期発見**につながった
- 前もって副作用対策を行う**ことで治療継続できた
- 患者さんが注意すべき症状がより詳細で明確になり、**お渡しした資材により副作用に気づいた事例**があった

株式会社ネクスウェイが実施した以下のアンケート結果より、株式会社ネクスウェイの許諾の上掲載
「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2024年6月実施
（株式会社ネクスウェイ）薬剤師568名の調査結果
「医薬品リスク管理計画（RMP）」の活用に関する薬剤師アンケート | 2025年5月実施
（株式会社ネクスウェイ）薬剤師616名の調査結果

患者さんへのRMP資材提供：RMP資材の提供の形式は？

患者さんへの提供方法では、
ダウンロードしたファイルを印刷したり、製薬企業より入手した冊子を提供するなど、紙媒体での提供が多数でした。

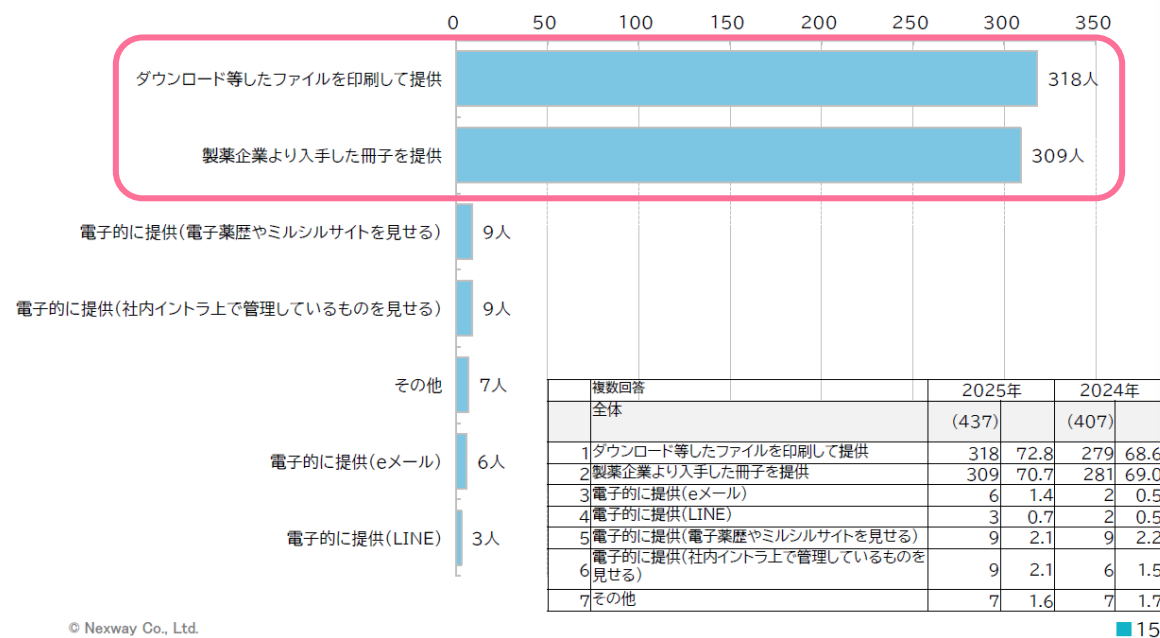
アンケート① 【提供方法】

複数
選択式

Q6 RMP資材の患者さんへの提供方法について教えてください



必要に応じて印刷するが微増 ほぼ変化なし



© Nexway Co., Ltd.

アンケート② 【提供方法】

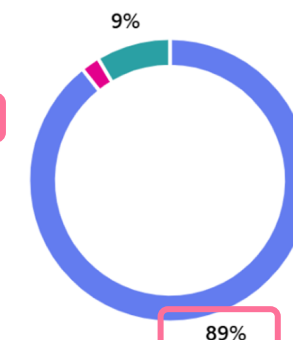
第58回 日本薬剤師会学術大会 分科会16 会場アンケート

Q8.患者向け説明資材を利用する際、どのように提供していますか？

(複数選択可)

(N=47)

- 紙媒体で提供している 42
- 電子媒体で提供している(メールやLINE等のアプリで提供) 1
- 薬局内のタブレット等に資材を表示させ提供している 4



第58回日本薬剤師会学術大会 分科会16 参加者アンケート | 2025年10月実施 分科会参加者66名の結果

患者さん向け資材の利用：課題は？

患者向け資材利用時の課題として、①短時間の服薬指導で患者のニーズ・理解度にあっているか把握できない、②サイズやレイアウトがまちまちで印刷しにくい、③発出（改訂）タイミングがわからないなどが挙げられました。

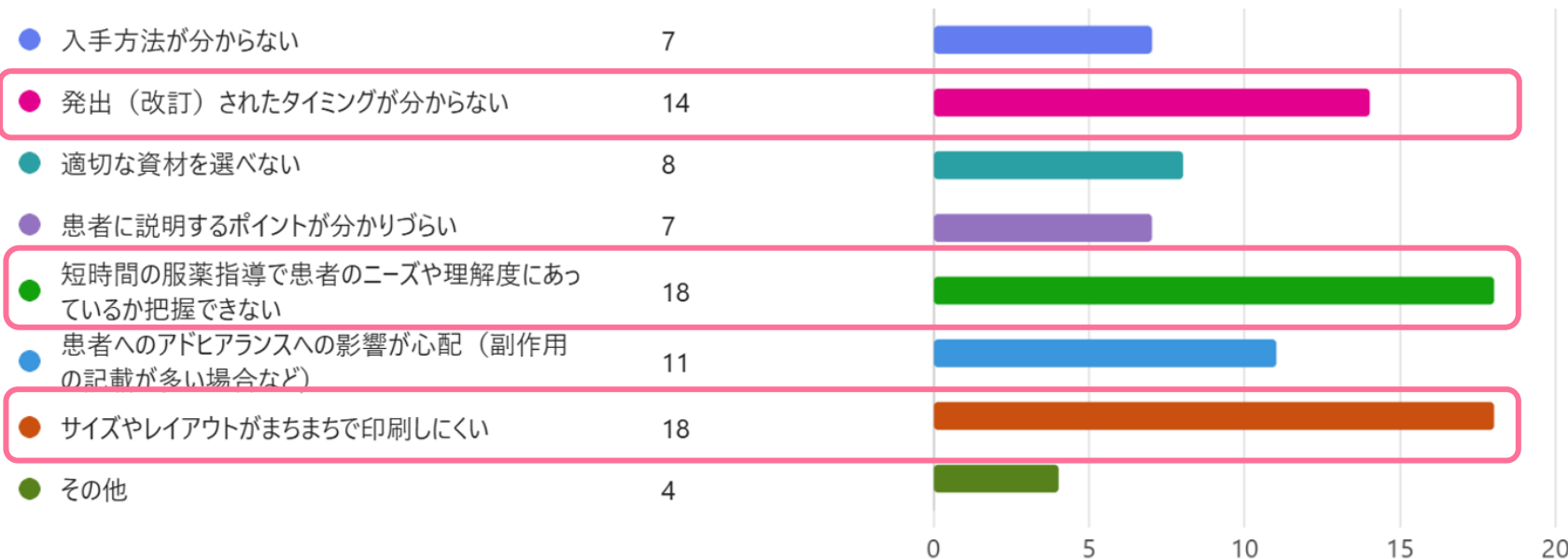
アンケート② 【課題】

第58回 日本薬剤師会学術大会 分科会16 会場アンケート

Q10患者向け資材を利用する際、困っていることは何ですか？

（最大3項目まで、複数選択可）

（N=66）



CONTENTS

1. 製薬企業による各種資材の作成～資材に込めた思い～
2. 薬剤師による情報活用～アンケート結果より～
3. **まとめ**

アンケートから得られた患者向け資材の課題

- 資材の**サイズ**や**レイアウト**がまちまちで印刷しにくい
- 資材の**発出・改訂タイミング**がわからない
- 患者へのアドヒアランスの影響が心配（**副作用の記載が多い**場合など）
- 適切な資材を選べない、患者に**説明するポイント**がわかりづらい、入手方法がわからない



PMDA/
厚生労働省
製薬企業

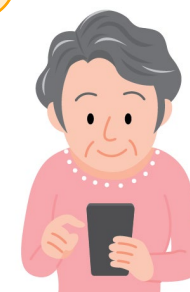


薬剤師



デジタル
(電子お薬手帳、アプリなど)

短時間の服薬指導で患者さんのニーズ・理解度にあっているか把握できない



患者さん

アンケートから得られた患者向け資材の課題

より良い情報提供のあり方を
産官学で検討していきたい。

1. 患者さんにも薬剤師にもわかりやすく

- ✓ 注意してほしいポイントの明確化
(例：1ページでまとめる概要ページの追加など)
- ✓ 患者さんや薬剤師さんの意見を資材に反映

2. 適時に最新情報にアクセスできる環境を

- ✓ システムやアプリへの取り込みができるファイル形式の検討
- ✓ レイアウトの共通化、PMDA WEBの活用

3. 電子的なコミュニケーションをどのように活用できるか

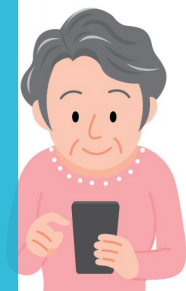
- ✓ 最新資材にアクセスしやすい環境構築
- ✓ 患者さんがWEB検索時に正しい情報へアクセスできる仕組みの構築
- ✓ 単に紙をデジタル化するのではなく、患者さんにとっての価値ある情報の提供
- ✓ 電子お薬手帳、電子処方箋の活用、患者フォローアップにおけるアプリの活用
- ✓ 生成AIとの理想的な協働の可能性？



PMDA/
厚生労働省
製薬企業



デジタル
(電子お薬手帳、アプリなど)



患者さん

1. 患者向け資材のポイントの明確化（RMP資材含む）

患者さん向け情報の“冒頭”に、最も大切なことを。

患者さん向けの総合的な情報の「冒頭」に注意すべきポイントがまとまっているとよいのではないかな？

投与前に必ず確認してほしいこと

治療中は、以下のことに注意が必要です。
治療を始める前に主治医とご確認ください。

！ 感染症に気をつけましょう。

治療中、感染症にかかりやすくなる傾向があります。
また、感染症にかかったときに、重症化してしまうおそれがあります。

- ✓ 手洗い、うがいなど、感染症予防を心がけましょう。
- ✓ 日ごろから、感染症が疑われる症状（熱がある、寒気がする、息苦しい、咳や痰が出る、のどが痛むなど）にご注意ください。



！ 気になる症状があらわれた場合には、医師、看護師、薬剤師に相談してください。

治療を始めた後に、副作用があらわれることがあります。
「治療中にとくに気をつけていただきたい副作用」(→16～21ページ)を参考に、体調の変化に注意してください。

日常生活で気をつけるポイント

- ✓ 手洗い、うがいを常に心がけましょう。
- ✓ からだをぶついたり、転んでケガをしないように気をつけましょう。
- ✓ 包丁やハサミを使うときは切り傷に注意しましょう。
- ✓ 歯を磨くときは歯ぐきを傷つけないよう、やさしく磨きましょう。



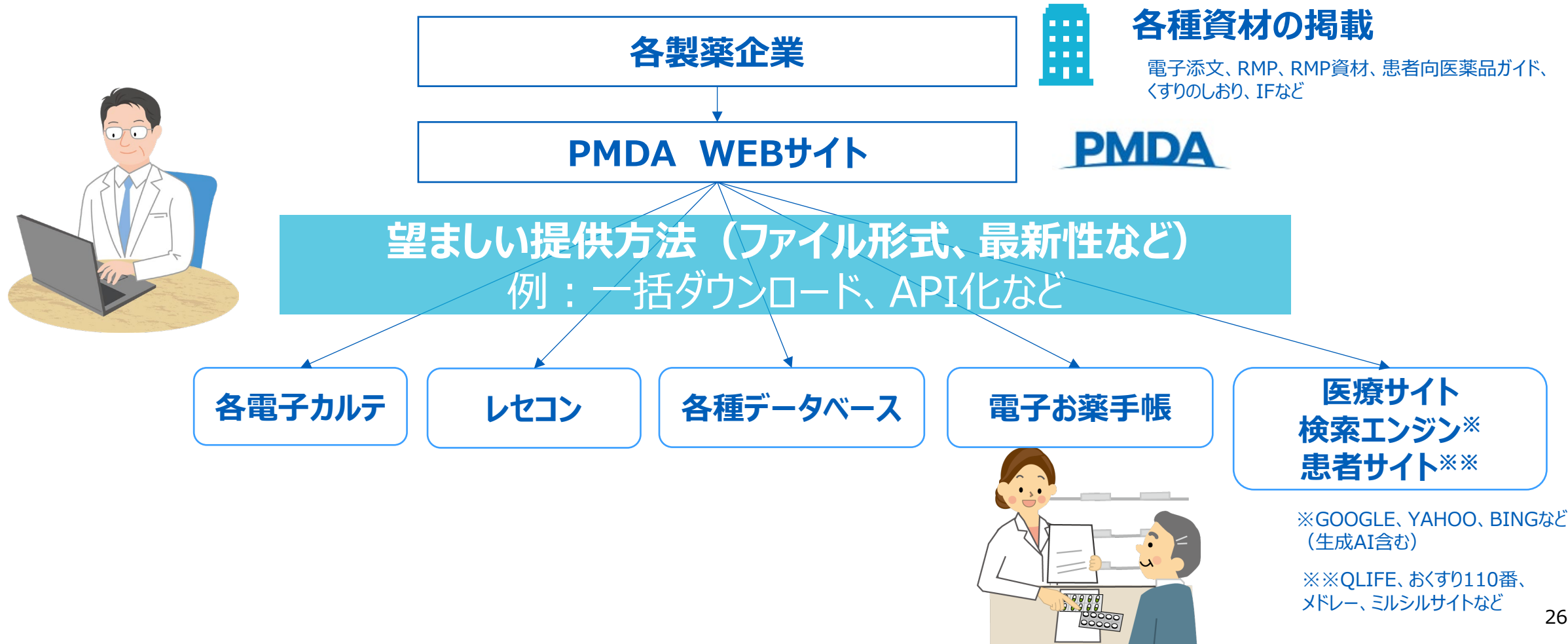
ポイントを説明しやすい
(説明の記録もしやすい)



2. 適時に最新の情報にアクセスするための仕組みづくり

正しく、最新の情報が、すべてのステークホルダーに届く仕組みを。

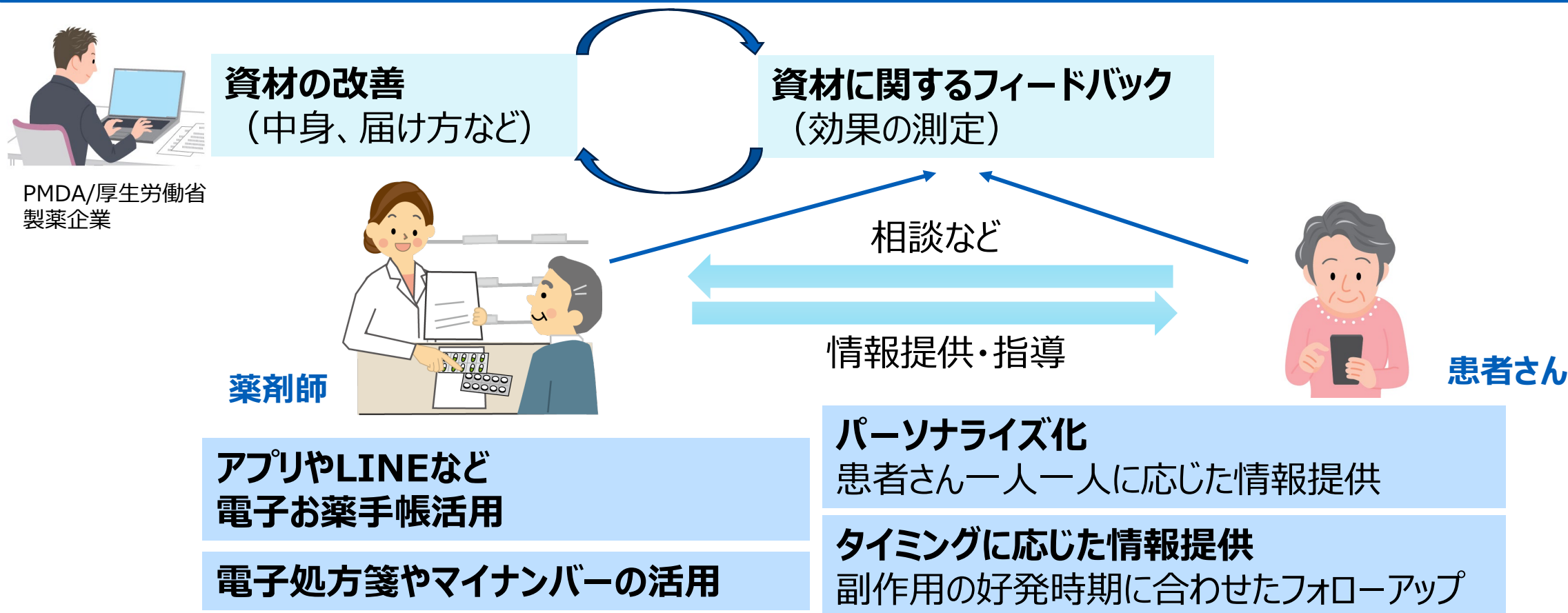
正しい、最新の情報があらゆるステークホルダーに届くための仕組みが必要ではないか？



3. 患者さんへの情報提供の未来像

電子的なコミュニケーションの活用を。

電子情報や生成AIを適切に活用できれば、専門性を最大限に発揮できる環境が作れるのではないかな？



生成AIの適切な活用とは？

ご清聴ありがとうございました

本日のスライドは後日製薬協のWEBサイトで公開予定です

6. DX関連（電子的な情報提供等）



製薬協

PVナビ

📄 ホワイトブック（その他ガイダンス等）

Ⅰ アンケート結果（全般）

- ① 電子的な情報提供に関するアンケート結果-製薬協参加企業の動向-（2023年1月実施）

Ⅰ アンケート結果（医療従事者向け情報提供）

- ① 医薬品の安全性情報に関する医療従事者のニーズ把握調査（医師、薬剤師）-速報- 2023年5月実施

Ⅰ アンケート結果（患者さん向け情報提供）

- ① 患者さん及びご家族の医薬品情報の入手に関する実態調査 -速報-（2024年2月実施）
- ② デジタルを用いた患者さん向け情報提供に関するアンケート結果（PV部会参加企業 2023年1-2月実施）
- ③ 「くすり」と製薬産業に関する生涯意識調査！報告書 広報委員会



PVナビで検索

作成担当／編集

本資料の内容を無断で転載することを禁じます

リーダー兼担当副会長 拡大幹事

竹本 信也	(中外製薬株式会社)
北川 南都子	(日本イーライリリー株式会社)
篠田 好果	(ノバルティス ファーマ株式会社)

野口 正浩	(アステラス製薬株式会社)
奥平 可奈子	(エーザイ株式会社)
富島 さやか	(大塚製薬株式会社)
安東 亜希子	(グラクソ・スミスクライン株式会社)
原田 郁子	(住友ファーマ株式会社)
水田 藍	(千寿製薬株式会社)

中西 晋平	(中外製薬株式会社)
谷口 圭一	(鳥居薬品株式会社)
田中 佐千代	(日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)
隅谷 真依	(ファイザー株式会社)
海野 一郎	(マルホ株式会社)
森田 愛子	(Meiji Seika ファルマ株式会社)

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会 TF1 (DXを活用したリスクコミュニケーション)
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 (日本橋ライフサイエンスビルディング)
TEL : 03-3241-0326 FAX : 03-3242-1767